



わたし、アナタ、min-na

No. 2

# そのすがたがうれしい

国際交流編

2021年 4月 8日 市立札幌開成中等教育学校便り  
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1  
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629  
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

## Spring has come!



1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます！在校生の皆さん、進級おめでとうございます！

昨年度は新型コロナの影響により、ほとんどの国際交流が中止・延期となってしまいました。まだまだ予断を許さない状況ですが、少しずつonlineでの交流が再開、実際の交流に向けての準備もそろそろ始まっています。一昨年までは、年間100人前後の本校生徒が海外へ学びに行き、100前後の海外からのお客様が来校していた開成中等教育学校。新年度を迎え、みなさんの安全を第一に考え、その中で最善の国際交流を積極的支援していきたいと考えています。どのような状況でも地球人の一員としてできることがあります。キャリア支援部：国際は、皆さんの国際的視野を広めていくお手伝いをしていきます。このNewsletterは、国際交流に関する情報を提供し、開成中等の皆さんの活躍を報告していきます。また、一階「国際交流コーナー」に随時案内等を掲示していきます。気になることがあれば**キャリア支援部・国際担当：三角・藤井**に声をかけてください。どうぞよろしくお祈りします！

**トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】第7期**の申請が始まっています。新高校1・2・3年生の各分野への申請はすでに3月に実施、10名がzoomを用いた二次面接を終え、結果を待っているところです。新高校1年生（本校の4年生）を対象とした「**アカデミック(テイクオフ)新高校生**」の申請は4月。申請を考えている**新4年生**は、3月に行った校内説明会の通り、**必要書類**（留学計画書・奨学金家庭基準適性判定資料）・**デジタルデータ・2分間の動画を整えて、4月13日(火)16時までに国際担当：三上・三角へ提出**してください。

### 姉妹都市ポートランドのグラント高校生との交流

グラント高校で日本語を学んでいる高校生とのWEB交流が始まっています。まずは英語と日本語での自己紹介。今後はお互いの街や文化の紹介交流も目指しています。中学生から参加可！詳しくはキャリア支援部・三上先生へ。

## 2020年度の国際交流に参加した生徒からの報告

みなさん、こんにちは！5年のS・Aです。

私は、第11回済州国際青少年フォーラムに北海道代表生徒として参加しました。このフォーラムは、2010年から韓国の済州特別自治道が主催しているもので、今年度は9ヶ国22地域から

151名の高校生が参加しました。例年は、済州島を訪問し、実際に高校生と交流する機会が与えられていますが、今年度はパンデミックの影響で初めてのオンライン開催となり、事前研修や事後

研修もzoomで行われました。事前研修では、HIECC職員の指示のもとで、代表生徒の選考後に課されるエッセイの交流や英語でのディスカッションに向けた練習が行われました。

フォーラム自体は、11月27日～11月29日の3日間行われた、今回は「急速に変化する世界での若者の交流」という大きなテーマのもと、「遠隔授業による学習格差解消策」「パンデミックに対する生物多様性保護策」「公共保健危機対応のための国際協調策」「青少年の社会参加のための能力強化案」の4つのトピックが設定され、トピックごとに集まった各国・各地域の高校生が設定された課題解決のために議論を交わし、発表を通じた全体での交流を行いました。私は公共保健に関するトピックを選び、ディスカッションに参加したのですが、新型コロナウイルスの流行防止策の一つに“Global Citizenship”を一人ひとりが持つというのがあり、驚きました。一人が世界に与える影響と世界が一人に与える影響の双方を意識し、日々責任感を持って生活を送ることが流行防止に重要であるというものでした。他にも、国家間で共同の研究所を設立し、金銭面や技術面で助け合いながらワクチンの開発を行ってはどうかという意見もありました。

オンラインでの開催には、時差やコミュニケーションの難易度が上がるといったデメリットもありましたが、感染のリスクが低く、どこからでも参加が可能であると言ったメリットも見受けられました。しかし、私は国内外への往来が憚られる中で、国際交流に参加できたことを嬉しく思っています。

フォーラム終了後は、北海道民の方々に向けた報告会の準備のために事後研修が行われました。3月には、フォーラムで活動内容やフォーラムへの参加を通じて学んだことなどを紹介するスライドを作成し、他校の北海道代表生徒3名と共に発表を行いました。

様々な地域から参加している高校生との交流を通じて、自身の持つ「日本人」というアイデンティティーを改めて意識させられ、世界に対する興味や愛が増幅すると共に、日本の文化や歴史についてより深く知りたいと思うようになりました。また、メディアなどから得られる知識はその国の僅かな側面にすぎず、実際に交流を行うことで日本国内で得られる情報以上の知識を得ることができると考えました。しかし、今回交流した数人の高校生もただの一側面にすぎず、その国のイメージや国民性と認識するのもまた偏った知識の体系に繋がってしまうので危ういと思いますが、多様な知識の獲得プロセスを経て、多角的な視点で国家間の摩擦や国際問題について考えていく必要があることを痛感させられました。一方、国際交流に参加する際は、日本人として参加している以上、自身の言動が相手に「日本」や「日本人」に対するイメージを左右しかねないため、責任感を持って行動することが重要であると感じました。

他にもここには書き納められない程の気づきや知識を獲得し、実りの豊かな経験となりました。来年度も本校にフォーラムの参加生徒の募集が来るとお思いますので、是非参加してみたいと思います。  
(2021年3月:記事寄稿)



@かでの2・7での発表風景 (3/21)

### 高校生 AFS 年間派遣プログラム 第69期(2022年出発) 応募と選考

- ◆24か国・地域で約190名募集予定
- ◆オンラインでの書類選考
- ◆参加費・アメリカ170万、欧州145万、アジア・中南米・ロシア120万
- ◆奨学金制度あり

\*詳しくは AFS 日本協会ウェブサイト公式情報(4/12 公開)・国際交流コーナーをチェック!